

## 伊勢湾貧酸素情報（第 6 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

これまで、伊勢湾の底層に広く形成されていた 2 ppm 以下の貧酸素水塊は、かなり縮小しており、今後、貧酸素状態は解消に向かうものと思われま

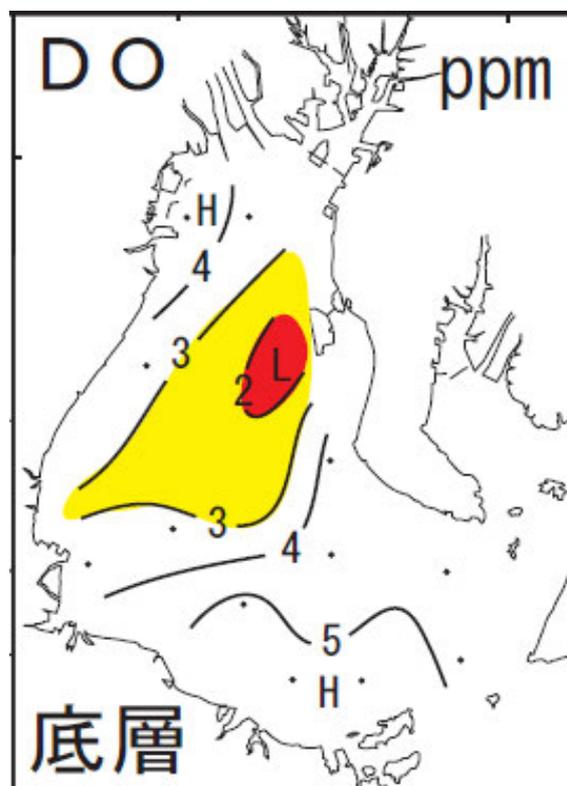
### 1 1 月 2 日の調査結果

11 月 2 日の調査船「あさま」の定線観測（速報値）によると、水温は表層で 17.7～20.4℃、10m で 19.7～21.5℃、底層で 20.5～22.5℃の範囲にあり、表層は平年並、10m で高め、底層では高めからかなり高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 5.6～11.0ppm、10m で 4.5～7.9ppm、底層で 1.7～5.5ppm の範囲にあり、表層は平年よりやや低め、10m と底層では低めとなっていました。

6 月の観測時（6 月 5 日）以来、伊勢湾の底層に広く形成されていた 2ppm 以下の貧酸素水塊は、かなり縮小しました。

伊勢湾では、海水の上下混合が起こりやすい時期を迎えており、今後、貧酸素状態は解消に向かうものと思われま



底層貧酸素水塊分布図